

# 常磐海岸新報

旬刊 月三回 七十七、  
廿七日  
定價 一月部 二十錢  
三月部 六十錢  
半年部 一百一十錢  
一年部 二百一十錢  
廣告 一頁 五十錢  
發行所 常磐海岸新報社  
印刷所 石井英次郎

## 新年を迎へて

あらゆる機会を捉へて、新機運を見出さんとするわが國民は、昨年初頭に於いて、昭和維新なる合言葉に、國民の綜合意志を見出した。明治維新には明治の生命があつた。昭和維新には、新たな昭和與國の指標を求め、また與國の事實を擧げやうとするのである。しかも昭和三年には、長くも、今上陛下御即位の大典を擧げさせ給ふた。國民にとつて、いとも印銘の深い年であつた。それのみではない、新春初頭には、普選實施後、第一回の總選舉が執り行はれ、初めて無産代議士の合法的擡頭を見た。次に、歐米に試みられた陪審制が、初めてわが國にも實施された。これ等は昭和維新の初頭を記念するにふさはしい、政治的事實の一つである。それが必ずしも十割の成功を、見得なかつたのは當然として、その經驗を完成する仕事は、今年以後に引き續かう。けれども問題はそれに止まらない。その他の諸多の事象が雜然として國民の關心をさらへてゐる。思想問題、殊に經濟問題、それからそれと、民衆は昭和維新を築き上げるための難關に出ツ喰さねばならぬ。また、昨年にあつては「一明るい政治」といふのが、國民に行きわたつた政治意識であり、政治指標でもあつた。けれどもその後の政治現狀はどうか。時の進歩に従つて明るいどころか、かへつてその暗さを加へて行つた。

喜ぶ可きものもある。悲しむべきものもある。たゞ表面を見ただけでは、そこに難然たる混亂があるのみだ。だからとて、暗黒面のみを眼をひかれ、無用な悲觀をしたり、希望をなげ棄てたりするところに、與國の民がなぐ、昭和の維新もない。われ等は近來のわが國民が、どうかすると、かうした神經衰弱的悲觀論に、墮しつゝある動向なきかと思ふ。混亂は決して悲觀すべきではない。混亂にこそかへつて、向上の希望がひそむであらう。

正、反、合の三法則が互に作用し、相互を克服して、最上の理想を捕捉する過程は、たゞ大なる混亂の裡に求められる。大なる混亂を克服して、最高理想を提示し來るには、眞に健康な國民的氣魄を必要とする。

新年の屠蘇は、この民衆的氣魄の、健康で新鮮な血液を、新たにするであらう。新年の沈思は、昭和維新に處する一年の大計を、親切に民衆に指示するであらう。そして、それを歡喜と希望とで満たすであらう。かくて大衆が待望する明るい世界は、春と共に常面に開幕し來るであらう。われ等は、新年の與へる意義を捉へ、これを利用してねばならぬ。

常磐海岸新報社同人

## 謹賀新年

諸橋久太郎

山崎與三郎

高岡唯一郎

安島重三郎

代議士 木村清治  
比佐昌平

小田吉治

社長 植田水力電氣株式會社  
金成通

加藤丈夫

東部電力株式會社  
平營業所長 武田精一

縣會議員  
鈴木辰三  
若山崎川清傳  
松崎滿藏  
美吉平藏

頭取 磐越銀行  
中野甲藏

小野晋平

松本徳一

小名濱大敷網事務所  
郡司二郎

高橋龜松

植田物産會社  
山崎登

諸橋守二  
諸橋元三郎

賀正  
鈴木昌雄

石城郡銀行會社組合  
四倉銀行會社組合